

# 『 国際コミュニケーションと文化 —共に語ろう。私たちのアイデンティティ— 』

1. 日時: 2009年10月31日(土) 14:00-17:00

2. 場所: 京大 芝蘭会館

京都市左京区吉田牛の宮11-1 電話 075-771-0958  
(京都市バス206系統「京大正門前」下車、徒歩3分)

## ◇プログラム

14:00-15:00

講演 I “Some thoughts about Language and Identity”.  
(「言語とアイデンティティ」)

講師 Dr. Wilfred van Rooijen ウィリアム・ヴァン・ローイエン氏

福井大学、附属国際原子力工学研究所 特別研究員  
日本原子力研究開発機構 FBRプラント工学研究センター  
炉心・燃料技術グループ研究員



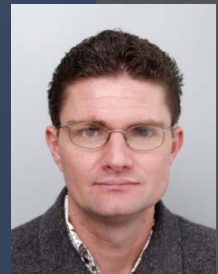
概要：言語は文化的アイデンティティの一部です。同時に言語は人々そして国際関係におけるコミュニケーションのツール（乗り物）です。

ヨーロッパの国々を比較しながら文化的アイデンティティの1要素である言語についてそして自分が日本語に対する時に直面する困難について述べたいと思います。

15:00-16:00

講演 II: Between Japaneseness and Humanity  
(「日本人らしさと人間らしさとの間」)

講師 Dr. Michael David Radich マイケル・デービッド・ラディック氏  
ウェリントンヴィクトリア大学宗教学教授、 京都大学客員研究員



概要：日本では「日本人はどこが特別？」とよく考えるようです。この問題の背景に、人類全体の共同性と、文化と文化の間の差異の大きさという、面白く深い問題が潜んでいます。仏教思想史、比較哲学、精神分析などの視点から、中国、日本、アメリカ及びニュージーランドに多年滞在した体験に基づいて、この問題について述べたいと思います。

16:00-16:15 コーヒータイム

16:15-17:00 質疑応答

注) 講演・質疑は原則英語で行われますが、適宜日本語訳を挟んで進行いたします。

5. 参加費 無料

6. 申し込み先

資料準備の都合上、参加ご希望の方は、10月20日までに、  
ご氏名、所属 を下記あてにメールでお知らせ下さい。

(担当企画理事) 久郷 明秀 com.kugo@ares.eonet.ne.jp